



『おふとん かけたら』

かがくい ひろし/さく ブロンズ新社

寒い朝には、おふとんの中でぬくぬくしていただきたいですね。たこや、ソフトクリーム、ありさんにおふとんかけたら、どうなるでしょう。ゆったりと読みたい絵本です。

『だるまちゃんとてんぐちゃん』

加古 里子 さく/え 福音館書店

だるまちゃんは、てんぐちゃんの持っている物や身につけている物に興味津々！何でも同じが良いようです。人のものが良く見えること、ありますよね。だるまちゃんは、てんぐちゃんのようになれるでしょうか。



『日本の行事』



★1月1日 お正月

新しい年の初めに年神様をお迎えし、その年の五穀豊穡と無病息災をお祈りします。



- お年玉：今は現金がほとんどですが、年神様の魂が宿ったお餅を「年魂」といい、それを配ったのが始まりといわれています。
- お雑煮：もともとは、大みそかの夜にお供えしたお餅を年神様と一緒に食べ、その霊力を授かるという意味がありました。関東は四角い切り餅、関西は丸餅が多く使われています。
- おせち料理：おせち料理は、季節の変わり目である節句に神様にお供えした料理が始まりとされています。次第に、一番大切な節句であるお正月の料理のことをいうようになりました。
- 初詣：元旦に、土地の氏神様にお参りすることを初詣といいます。初詣の由来は、「恵方参り」といわれていて、年ごとに決められている恵方の神社にお参りすると、氏神さまから福をいただけるといわれていました。
- 初夢：1月1日、あるいは2日の夜に見る夢です。枕の下に「宝船」の絵や、悪夢を食べてくれる架空の動物「獺（ばく）」の字を書いた紙を入れて眠ると良い夢が見られるともいわれています。

お正月遊びを楽しもう！

- お正月遊びには、邪気を払い子どもの成長を願うものが多いです。
- 羽根つき：1年の厄をはねのけると言われています。羽に使われている「無患子（むくろじ）」の実は、「子どもが患わない」と書くことから無病息災を願うとされています。
- こままわし：こまがまわる姿から、「お金がまわる」とされ、縁起が良いと言われています。長寿と強さを願うあそびでもあり、江戸時代から人気がありました。
- かるた：平安時代に貴族が行っていた「貝合わせ」が由来といわれています。ことわざが書かれた「いろはかるた」は、子どもが遊びを通して、楽しく文字を覚えられるように工夫されています。
- すごろく：お正月に双六をするのは、その年の運試しともいわれています。

